

さがえ屋通信

お客様のご縁を紡ぐおせんべい

神無月
2022.10.3

煎餅工房さがえ屋
通販事業部
山形県寒河江市
中央工業団地16
TEL:0120-38-3324
FAX:0120-05-3324



最上郡大蔵村 肘折温泉朝市



ネット店青柳のカメラ片手にご近所旅
(2022年8月29日 山形県最上郡大蔵村)

開湯1200年以上

歴史ある温泉郷

霊峰月山の麓、清らかな銅山川沿いに、情緒ある約20軒の温泉宿が建ち並び肘折。その歴史は古く開湯は平安時代の西暦807年までさかのぼります。肘折の地名の由来は所説ありますが、肘を折った老僧がこの地のお湯に浸かったところ、たちまちに傷が癒えたという話が有名です。江戸時代には出羽三山や葉山などの参道口としてにぎわいをみせ、また湯治場としても栄えていたことから、現在でも長期滞在用に自炊部をもつ旅館が多く、どこか懐かしい風情が残っています。また雪深いこの肘折で共同で湯を守ってきた人々の精神は今でも引き継がれ、人情味溢れる温泉街となっています。

おいしい物が勢ぞろい

肘折温泉名物の朝市は4月下旬から11月下旬までの毎朝5時半ごろ（季節によって6時）から7時位まで行われています。春は山菜、夏は新鮮な夏野菜、秋はきのこ、その他にも手作りの笹巻やしと巻き、漬物やおこわなど地物のうまい物が販売されます。

下駄の音に

ふれあい広がる温泉街

早朝の爽やかな空気の中、温泉街にはカラコロンと下駄の音が響いています。浴衣姿のお客さんとおばちゃんを楽しそうに会話し、気に入ったものを購入していきま。私も朝ごはん、奥さんへのお土産を探しに買い物に挑戦！目の前に肘折の旬がまさに勢ぞろい。これはたまらん！私のトマト肘折で採れたの？。おばちゃん「うちの畑で採れたんだ。蒸かしもうま」がら買っていがねが？。お互い方言丸出しで会話が弾みます。おこわ、トマト、トウモロコシ、だちや豆、ゴーヤ、しと巻き、なすの漬物、きくらげ。特別な物はないかもしれないけれど肘折の旬の味覚が味わえる贅沢さがニンニにあります。何回来ても、また来たくなる。それはこの温泉街の心地よさからくるものだと思います。自然豊かでノスタルジックな街並み。四季のうつろいの中でおいしい物がたくさん味わえて、そして何より肘折の人々の優しさは、まるで肘折の湯のようにじんわりと心にしみわたります。秋が深まればおいしいきのこが味わえます。きのこの出汁たっぷり鍋が恋しいよ。



